

情報社会の現状と情報モラル

七條 麻衣子

大分県警察 サイバーセキュリティ対策アドバイザー

株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン ICT利用環境啓発支援室 客員研究員

公益財団法人 ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員

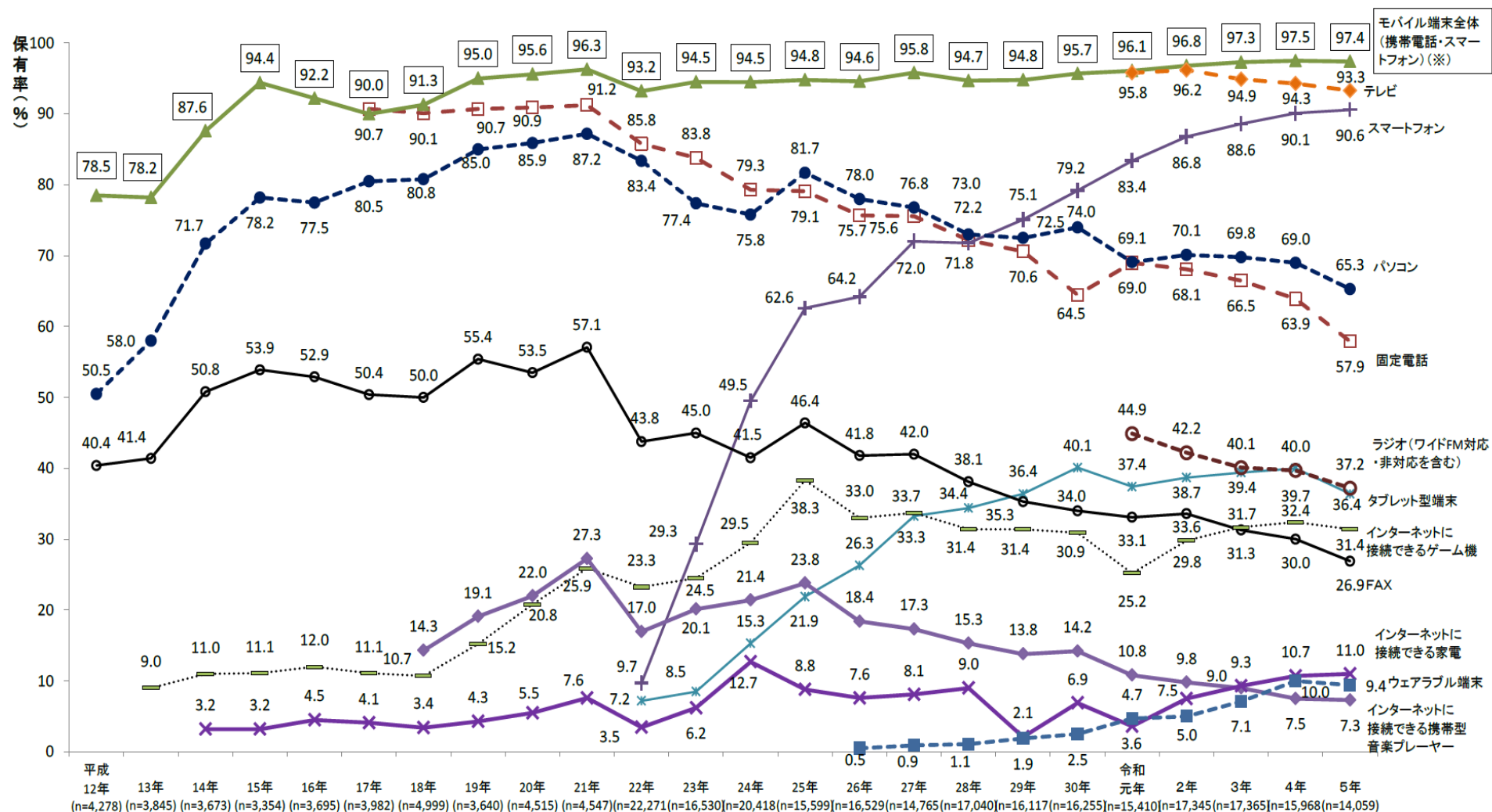
大分県立芸術文化短期大学 非常勤講師

聖マリア学院大学 非常勤講師

情報社会の現状と情報モラル

- ▶ 情報社会の現状
- ▶ インターネットにおける人権侵害
 - ▶ セキュリティインシデント
 - ▶ 情報発信にまつわる問題
- ▶ 組織としての対応

主な情報通信機器の保有状況の推移

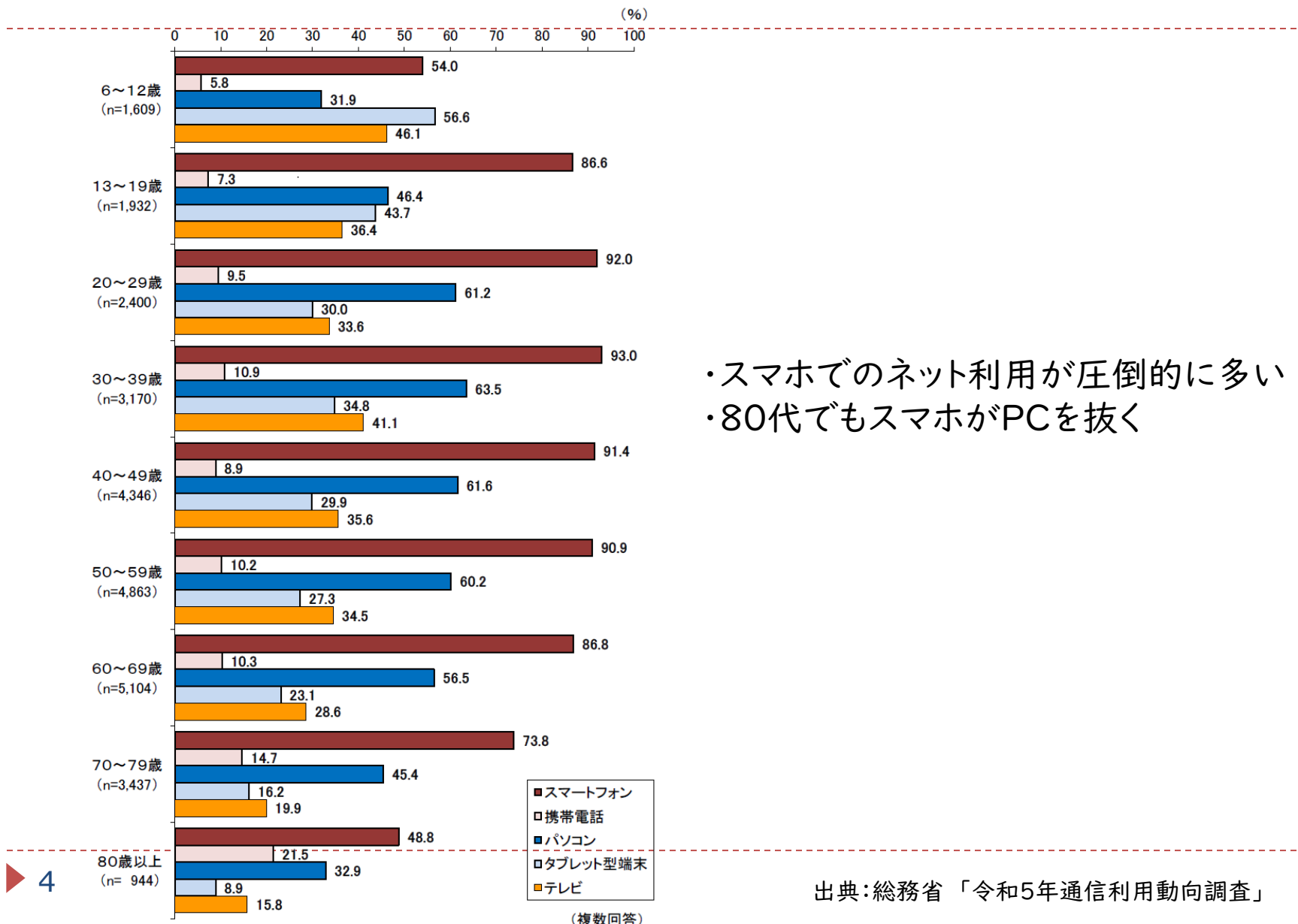


※「モバイル端末全体」には、平成21年から平成24年までは携帯情報端末(PDA)、平成22年以降はスマートフォン、令和2年まではPHSを含む

※無回答を含む

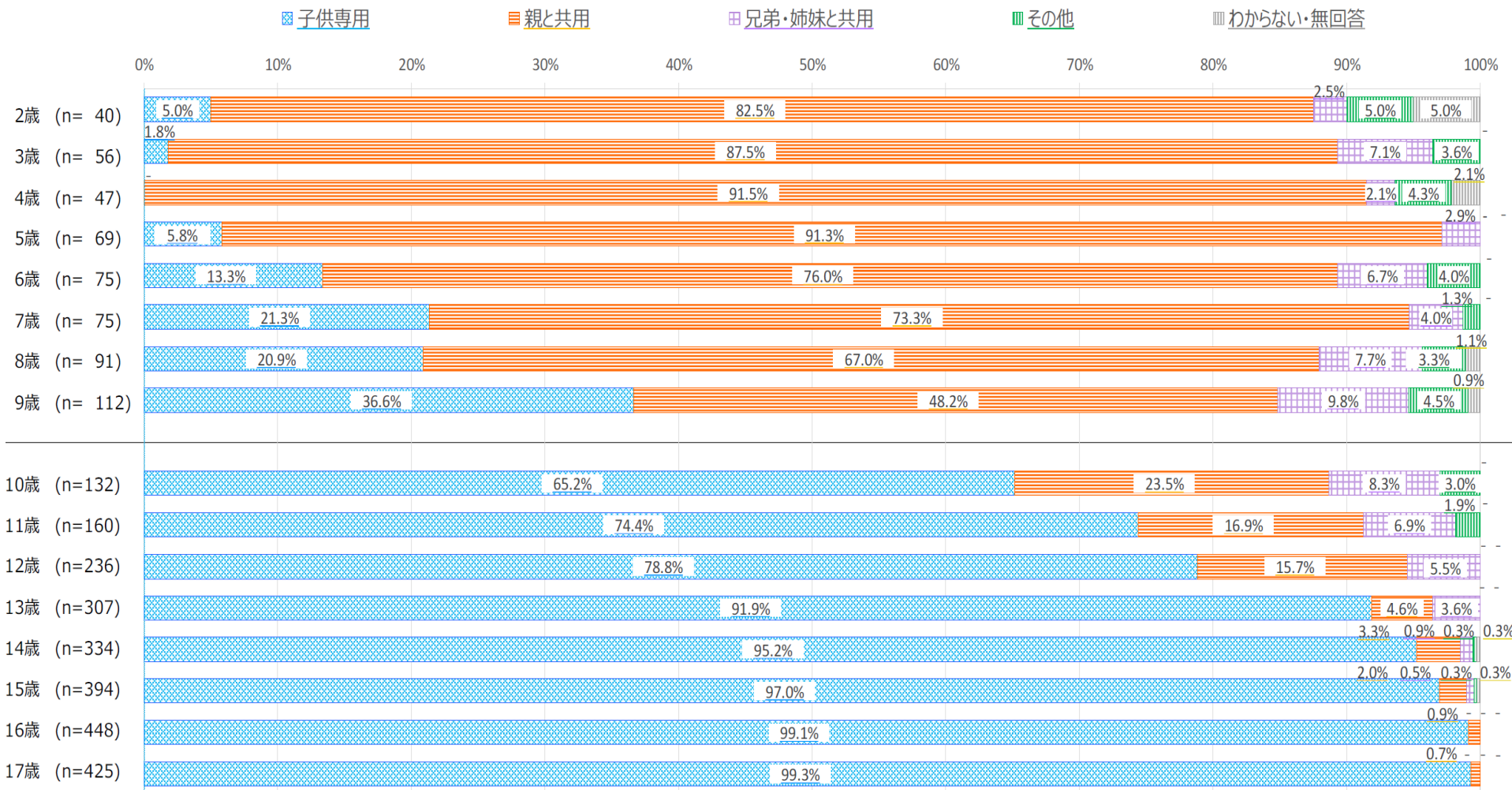
(複数回答)

年齢階層別インターネット端末の利用状況



若年層のネット活用

機器の専用率（年齢別・スマートフォン／令和5年度）



若年層のネット活用

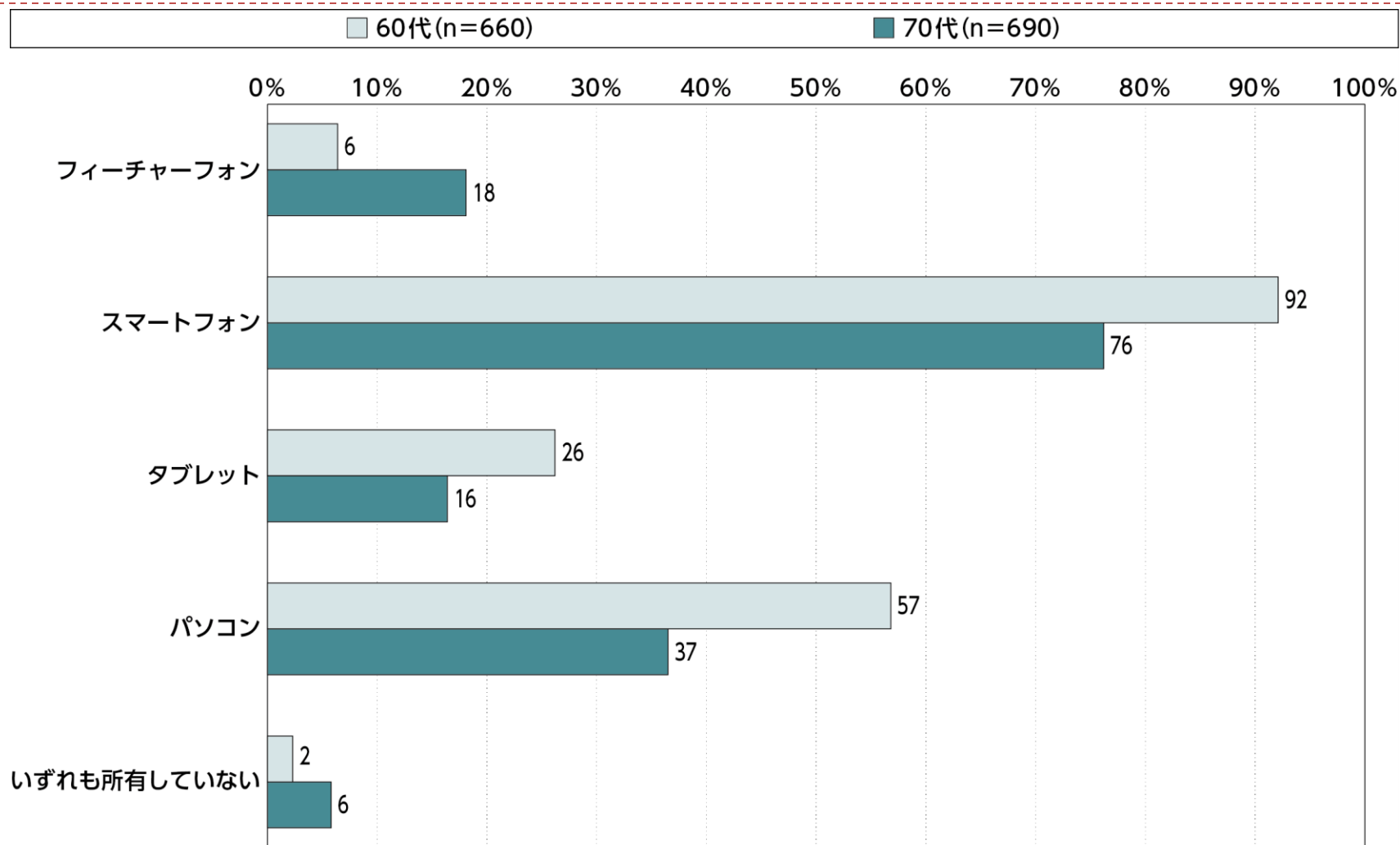
インターネット利用内容（年齢別・いずれかの機器／令和5年度）

	投稿やメッセージ 交換をする	ニュースをみる	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	マンガを読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作 記録をする	その他
2歳 (n= 97)	1.0%	-	-	-	19.6%	96.9%	-	1.0%	18.6%	-	5.2%	2.1%	1.0%
3歳 (n=115)	-	0.9%	0.9%	-	20.9%	95.7%	0.9%	-	30.4%	-	8.7%	5.2%	3.5%
4歳 (n=137)	0.7%	0.7%	5.1%	2.9%	19.0%	94.9%	1.5%	-	42.3%	1.5%	11.7%	8.8%	2.2%
5歳 (n=173)	2.9%	2.3%	5.2%	2.9%	20.2%	95.4%	-	0.6%	60.7%	0.6%	23.7%	8.7%	4.6%
6歳 (n=203)	7.9%	5.9%	13.8%	3.9%	23.6%	94.6%	1.0%	0.5%	71.9%	-	40.4%	12.3%	3.9%
7歳 (n=246)	15.4%	6.1%	26.4%	6.5%	19.5%	92.3%	6.1%	2.0%	75.6%	1.2%	52.8%	23.2%	8.9%
8歳 (n=298)	16.8%	6.4%	40.6%	7.0%	28.2%	90.9%	5.4%	3.0%	81.9%	1.3%	56.7%	19.8%	8.1%
9歳 (n=292)	30.1%	12.0%	55.5%	9.9%	35.6%	92.8%	4.1%	2.7%	86.0%	0.7%	66.4%	25.7%	11.6%
10歳 (n=355)	41.1%	31.3%	68.7%	19.4%	39.7%	89.9%	5.9%	7.0%	88.7%	3.9%	68.2%	30.7%	16.3%
11歳 (n=351)	46.4%	36.5%	73.8%	20.8%	53.6%	90.9%	9.4%	8.3%	84.9%	6.0%	64.4%	32.8%	17.1%
12歳 (n=387)	61.5%	39.0%	79.1%	31.0%	65.1%	92.5%	10.9%	17.8%	90.7%	7.5%	69.8%	30.2%	16.0%
13歳 (n=382)	75.4%	51.6%	84.0%	38.7%	79.3%	94.0%	13.6%	27.0%	90.1%	9.2%	72.8%	33.5%	13.9%
14歳 (n=429)	74.6%	52.9%	86.7%	49.2%	82.8%	94.6%	12.4%	34.0%	86.9%	13.8%	72.0%	37.1%	14.7%
15歳 (n=441)	83.9%	56.7%	89.3%	56.5%	85.9%	95.2%	18.1%	42.2%	82.1%	24.7%	76.4%	39.5%	12.5%
16歳 (n=464)	86.9%	60.1%	91.4%	68.3%	92.7%	95.5%	22.6%	50.0%	82.3%	37.5%	78.0%	45.3%	10.6%
17歳 (n=429)	91.6%	66.2%	90.2%	68.5%	94.9%	94.9%	24.7%	56.4%	80.4%	46.6%	78.6%	46.6%	10.7%

若年層のネット活用

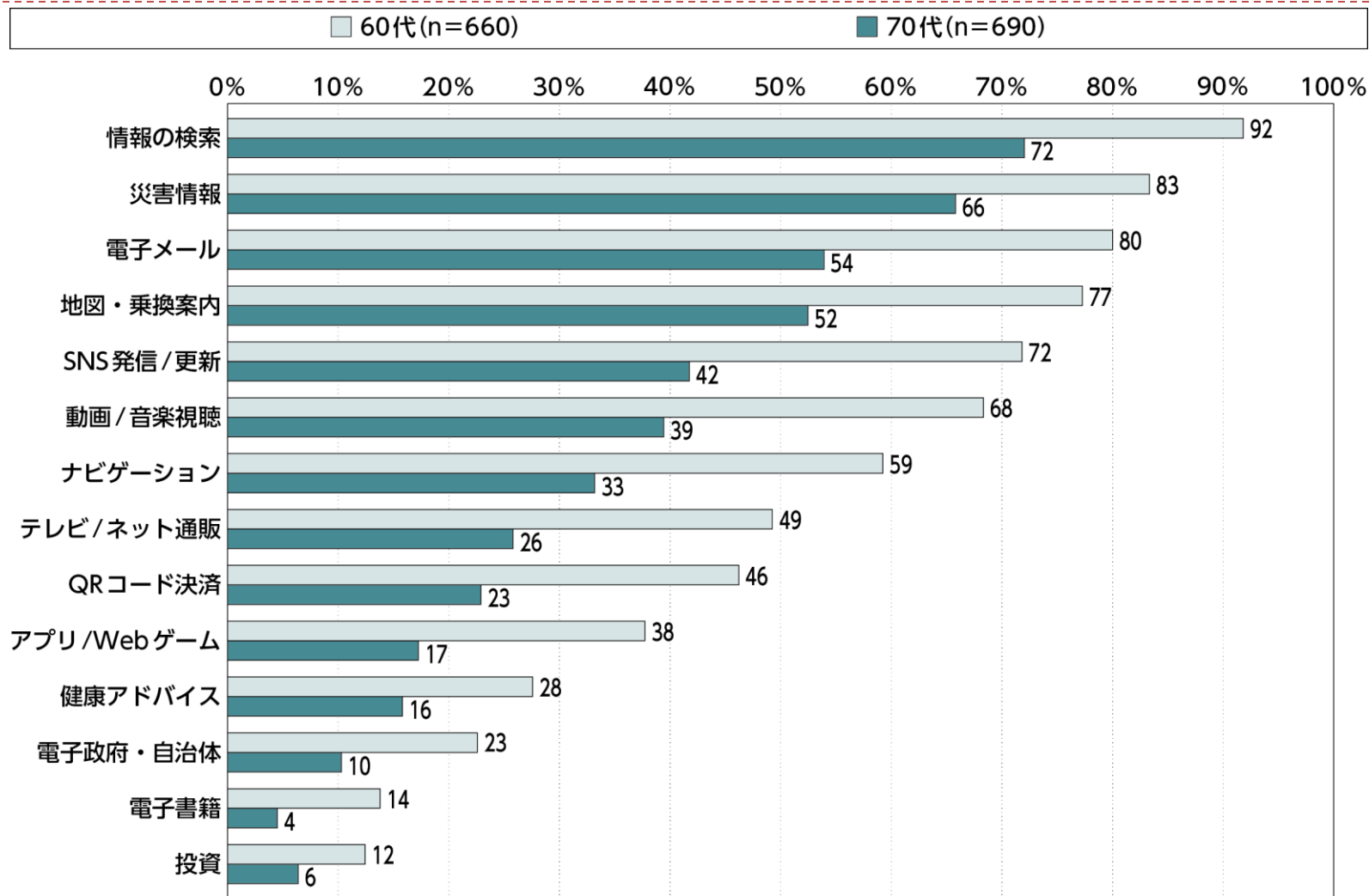
- ▶ ネットの世界は日常生活の延長
 - ▶ 友だち、家族との連絡手段
 - ▶ LINEは家族や親しい友人のみ、その他はインスタのDM
 - ▶ 情報収集、情報共有、学習、趣味
- ▶ ゲーム+チャット
 - ▶ ゲームは画面共有やボイスチャットをしながら
- ▶ “共有”と”ジャンル分け”の文化
 - ▶ 位置情報、アカウント、画面、繋がる時間の共有
 - ▶ 趣味、愚痴などはアカウントを分ける
 - ▶ リア垢（学校名・クラス記載）、勉強垢、裏垢、取引垢
- ▶ 動画配信・加工の文化が浸透
 - ▶ 様々なアプリの登場

高齢者のネット活用



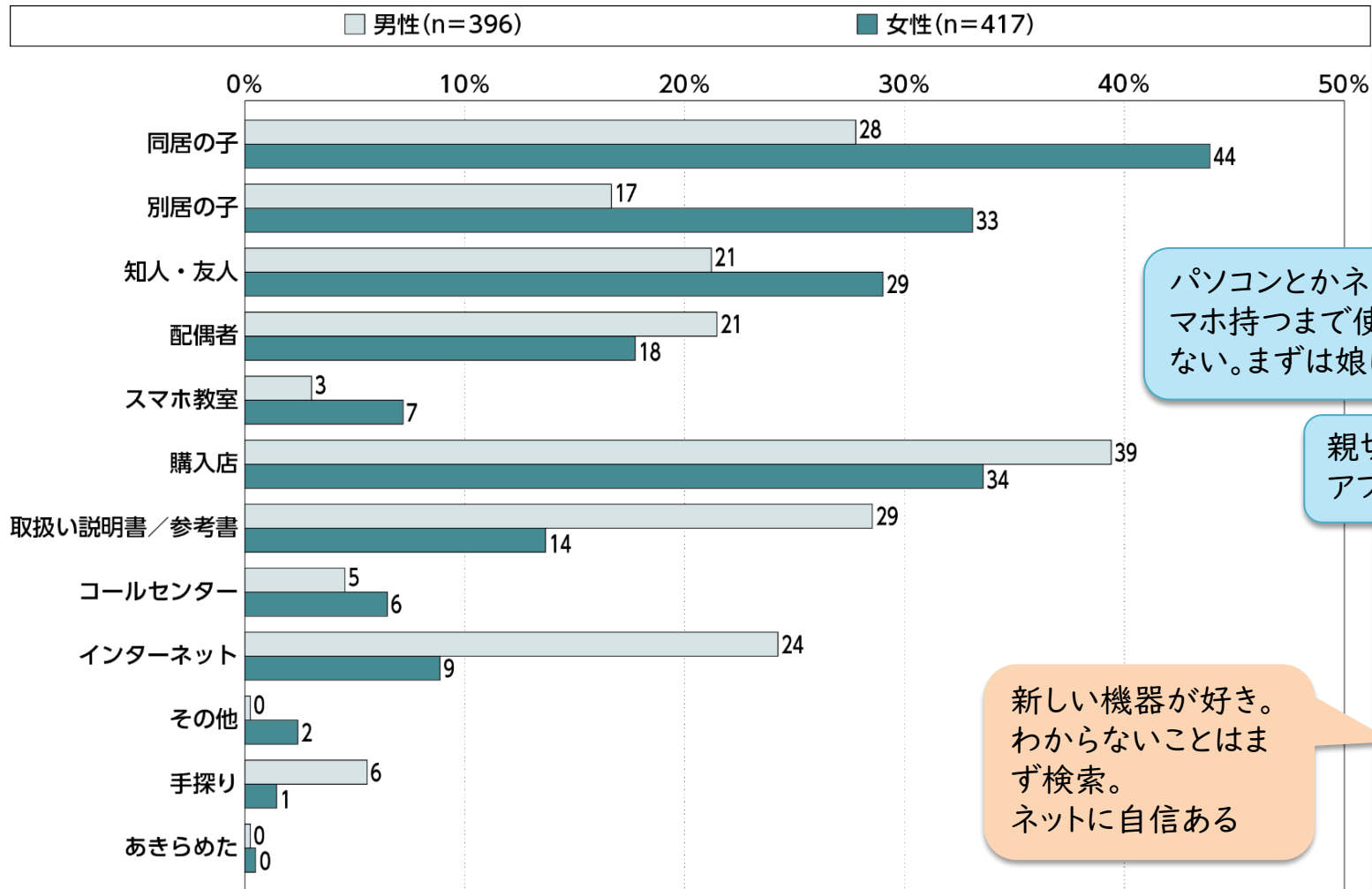
注：「タブレット」「パソコン」は家族で共有して所有している機器も含む。

高齢者のネット活用



出典：2023年シニア調査(訪問留置)

スマートフォンを使いこなすための 相談相手(60代、70代)



母:70代

パソコンとかネットとかスマホ持つまで使ったことない。まずは娘に聞く

親切な店員さんがアプリ入れてくれた



親戚:80代

新しい機器が好き。
わからないことはまず検索。
ネットに自信ある

高齢者の状況

- ▶ パソコンからスマホに移行
- ▶ 通信端末やネットの利用でわからないことがあったら家族に聞きたい高齢者が多い
- ▶ スマホの購入店など店頭で質問したいが、個別アプリやサービスの説明はしてもらえない
- ▶ スマホであれば、外出先で誰かに質問できるが、パソコンは自宅にあるのでわからないまま
- ▶ 「詐欺では？」と思っても、その後どうすればよいかわからない
- ▶ 遠慮や恥ずかしさから身近な人に相談しにくい

「サポートしますよ」
「話を聞きますよ」系の悪質業者にとってやりたい放題



ソーシャルメディアについて

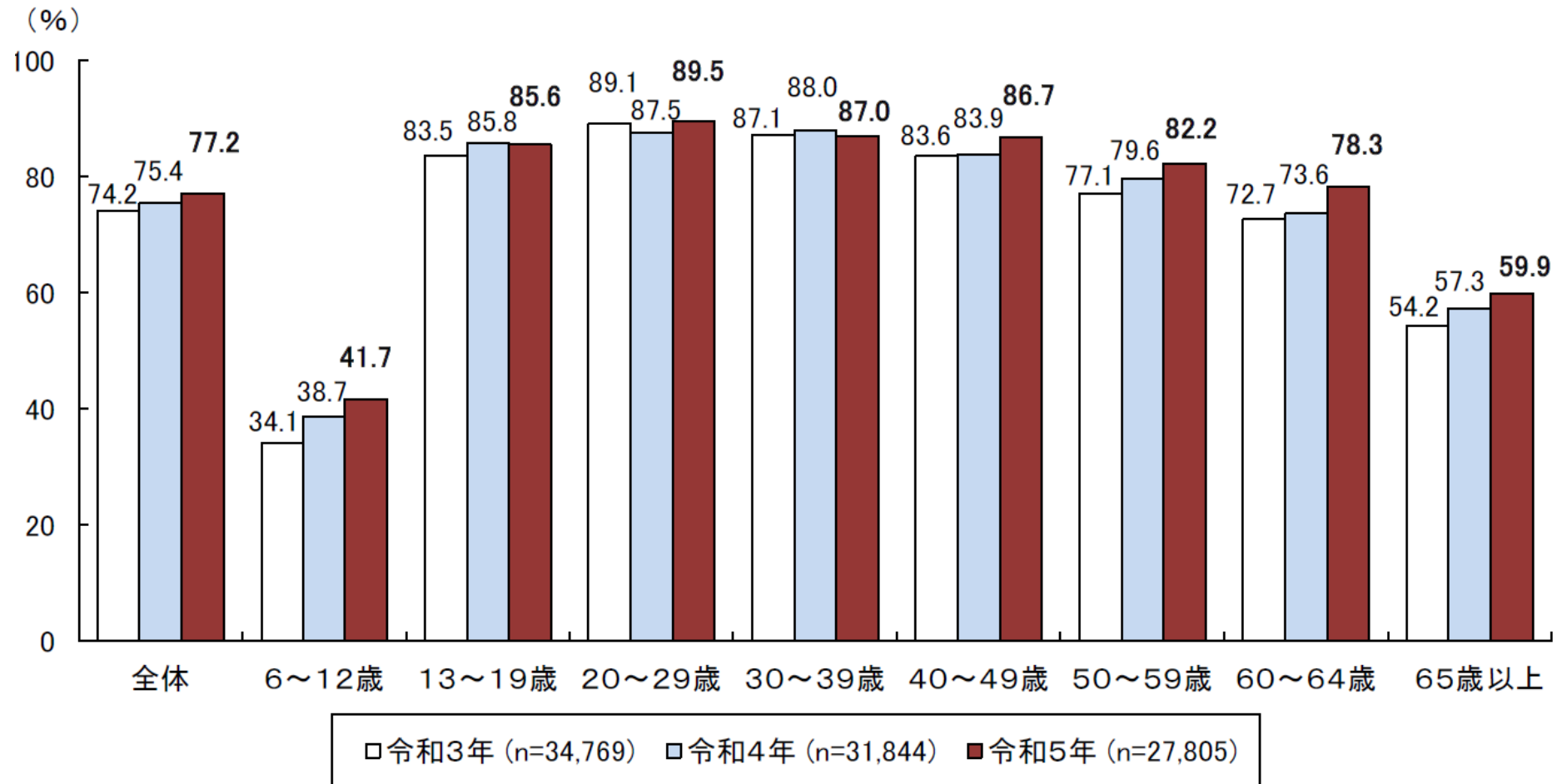
▶ 特徴

- ▶ 人と人とのつながりを促進
- ▶ 人間関係の視覚化
- ▶ 拡散

▶ 活用シーンの広がり

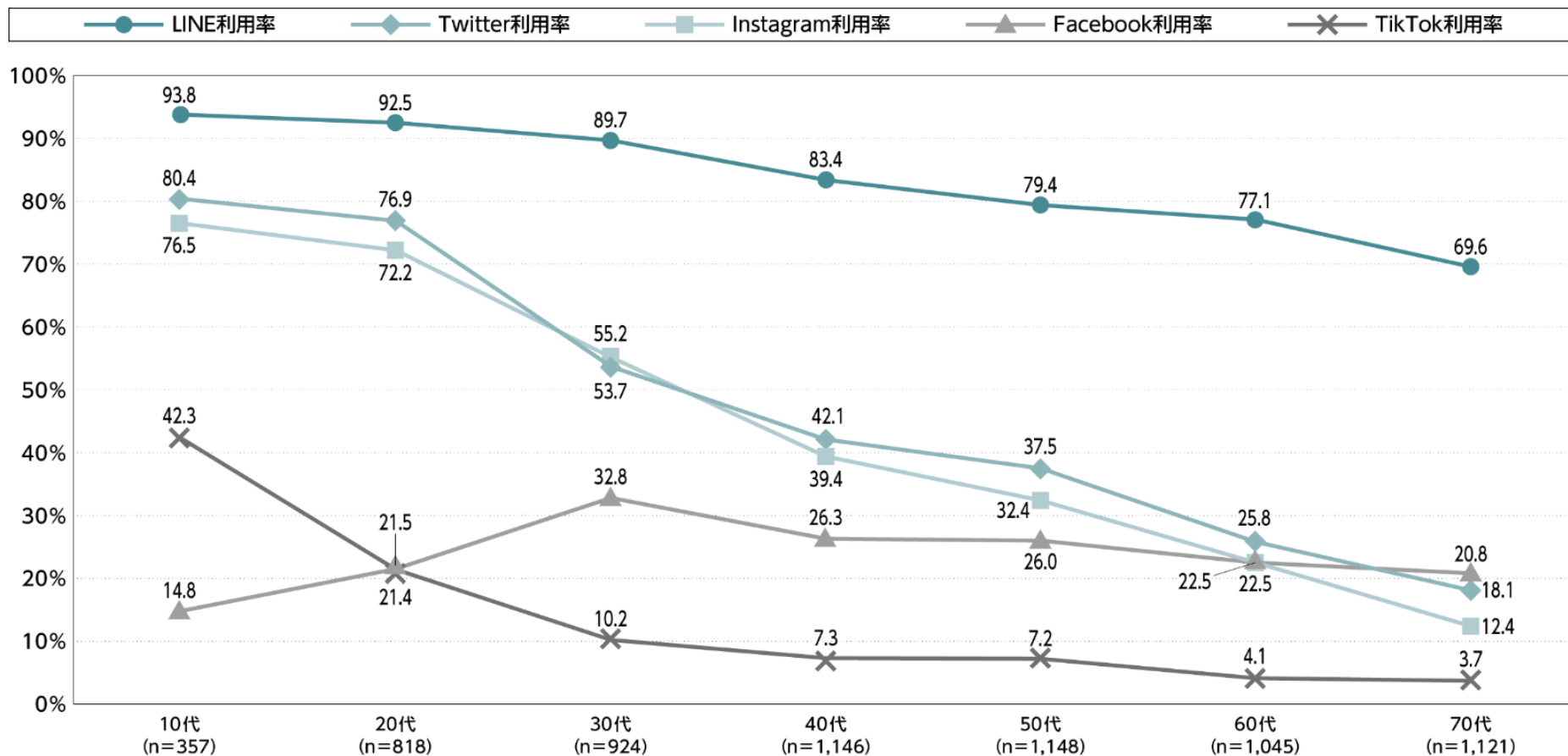
- ▶ 行政機関や企業における広報
- ▶ 就活での活用（情報収集・説明会等の登録）
- ▶ 宅配便等の通知
- ▶ ポイントカード・スタンプカード
- ▶ 飲食店等での注文

ソーシャルメディアについて



ソーシャルメディアについて

年代による各サービスの利用率

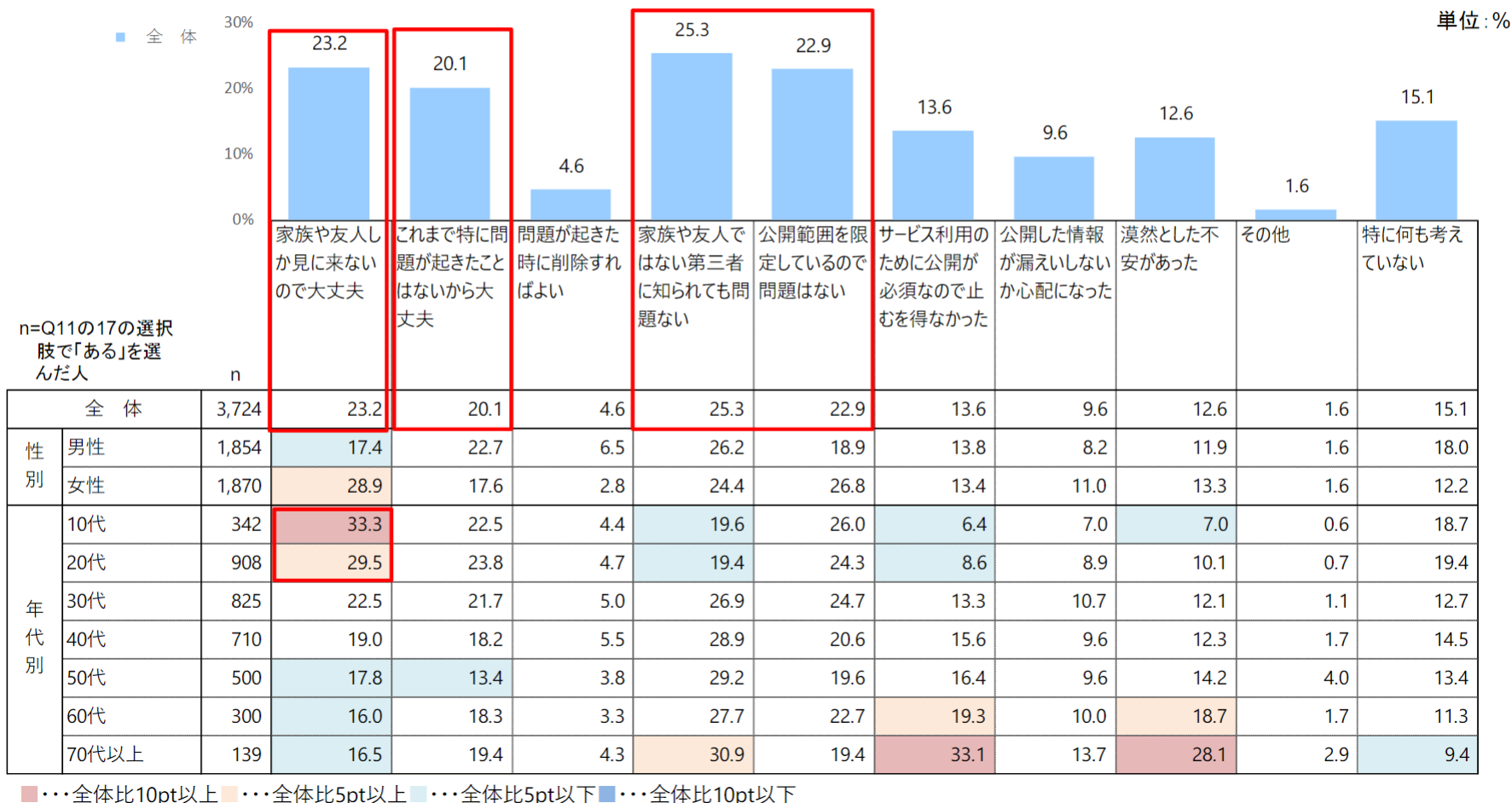


出典：2023年一般向けモバイル動向調査



3-11.自分の個人情報やプライベートな情報の公開に対する考え Q.12

- 割合が高いのは“不特定多数に知られても問題ない”“閲覧者が限られる”“今まで問題なかった”に大別される。
- 「家族や友人しか見に来ないので大丈夫」の回答割合が平均より高いのは10代、20代



誰もが情報の発信源に

▶ 情報の真偽

- ▶ フェイクニュース・デマ
- ▶ ディスインフォメーション

デマを見聞きしたら？
落とし物を拾ったらどうする？
適切な行動とは？

▶ 情報の偏り

- ▶ エコーチェンバー、フィルターバブル

▶ 拡散の影響

- ▶ 災害、救助に関する情報
- ▶ 行方不明者や個人の安全等に関する情報
- ▶ 「告発」「晒し」の手段
 - ▶ 投稿するのではなく、まず関係者・関係機関に連絡を

令和6年能登半島地震での事例

閉じ込められて逃げられない。
この家族を助けてください 🙏

広めてください

#珠洲市 #地震 #大谷 #助けて

#sos #earthquake #Japan



投稿者 [redacted]

🗨 24 🔄 1526 ❤ 961 📺 22万 📌 📶

インプレッション稼ぎと思われる投稿、
コピー・虚偽の内容も大量に拡散

インプレッション=閲覧数

X(旧Twitter)の

「クリエイター広告収益分配プログラム」の影響

✳️ 石川県・志賀町 不審者情報 ✳️

⚠️ 神戸 [redacted] シルバー

⚠️ ?? [redacted] シルバー

⚠️ 大阪ナンバーのハイエース

⚠️ 岐阜ナンバーハイエースは

⚠️ 高額で食料品を売りつける

志賀町の今はこのような状況...

[さらに表示](#)

災害対応の通信設備会社の車両、
救助に駆けつけた一般車両等に関するデマが拡散

ファクトチェック/情報のトリアージ

- ▶ ソース（出所・情報源）を調べる
- ▶ 被害・悪影響を受ける人がいないか
- ▶ 自分の発信がノイズにならないか
- ▶ 拡散の後処理をする
- ▶ 迷った場合は反応しない



特定非営利活動法人 ファクトチェック・イニシアティブ (FIJ)

<https://fij.info/coronavirus-feature/national>

日本ファクトチェックセンター

<https://factcheckcenter.jp/>

情報社会の現状

- ▶ IoT・AIの急速な発展
- ▶ 身の回りのあらゆるものがデジタル化
 - ▶ コロナ禍での消費活動の変化
- ▶ SNS（ソーシャルメディア）の浸透
- ▶ サイバー犯罪・サイバー攻撃の増加
 - ▶ ランサムウェア、フィッシング、不正アクセス等
 - ▶ 偽サポート詐欺、広告やSNSを悪用した詐欺

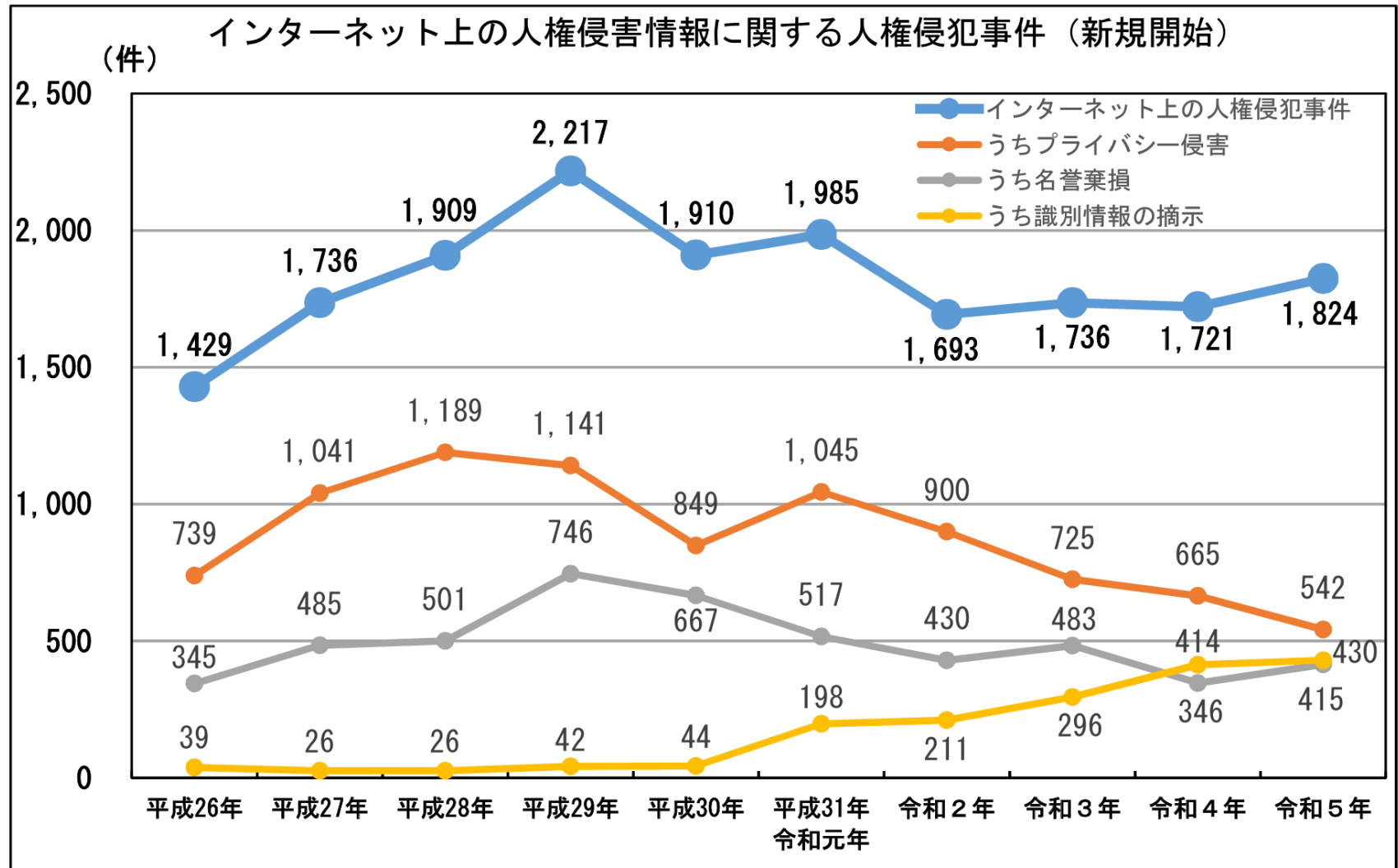
社会全体での情報リテラシー教育、
サイバーセキュリティ教育の底上げが急務

人権問題

「人権」とは、「全ての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」

- ① 女性（性犯罪・性暴力・DV・ハラスメント）
- ② こども（いじめ・体罰・児童虐待・性被害）
- ③ 高齢者
- ④ 障害のある人
- ⑤ 部落差別（同和問題）
- ⑥ アイヌの人々
- ⑦ 外国人
- ⑧ 感染症
- ⑨ ハンセン病患者・元患者やその家族
- ⑩ 刑を終えて出所した人やその家族
- ⑪ 犯罪被害者やその家族
- ⑫ インターネット上の人権侵害
- ⑬ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等
- ⑭ ホームレス
- ⑮ 性的マイノリティ
- ⑯ 人身取引（性的サービスや労働の強要等）
- ⑰ 震災等の災害に起因する人権問題

インターネットにおける人権侵害



インターネットにおける人権侵害

- ▶ 情報漏えい
 - ▶ プライバシー、DV・ストーカー被害、不正ログイン等
- ▶ 悪意ある投稿（誹謗中傷、嫌がらせ）
 - ▶ プライバシー、名誉、表現の自由、心身の苦痛
- ▶ 無断での写真・動画撮影、投稿
 - ▶ プライバシー、肖像権
- ▶ ストーカー行為
 - ▶ プライバシー、名誉、表現の自由、心身
- ▶ 情報アクセシビリティ
 - ▶ 知る権利

情報セキュリティ10大脅威 2024

情報処理推進機構 (IPA) 発表

個 人	組 織
インターネット上のサービスからの個人情報の窃取	ランサムウェアによる被害
インターネット上のサービスへの不正ログイン	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃
クレジットカード情報の不正利用	内部不正による情報漏えい等の被害
スマホ決済の不正利用	標的型攻撃による機密情報の窃取
偽警告によるインターネット詐欺	修正プログラムの公開前を狙う攻撃 (ゼロデイ攻撃)
ネット上の誹謗・中傷・デマ	不注意による情報漏えい等の被害
フィッシングによる個人情報等の詐取	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加
不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	ビジネスメール詐欺による金銭被害
メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の 手口による金銭要求	テレワーク等のニューノーマルな働き方を 狙った攻撃
ワンクリック請求等の不当請求による金銭被害	犯罪のビジネス化 (アンダーグラウンドサービス)

セキュリティインシデントにおける 人権侵害

▶ 情報漏えい

- ▶ ランサムウェア攻撃による情報窃取
- ▶ データや書類の不適切な管理による紛失や盗難
- ▶ ソーシャルエンジニアリングによる情報窃取

▶ 不正アクセス・不正ログインによる情報窃取

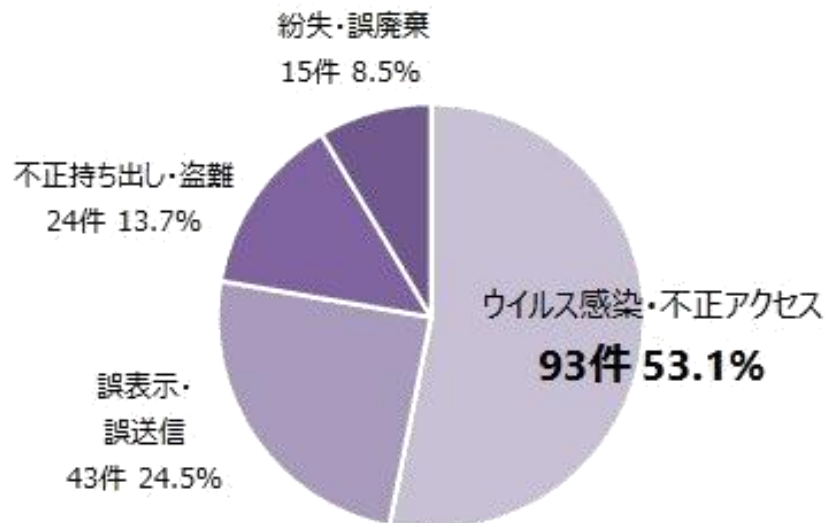
- ▶ フィッシング詐欺
 - ▶ インターネットバンキングの不正送金
- ▶ なりすまし

情報漏えい

2023年に個人情報の漏えい・紛失事故を公表した
上場企業ならびにその子会社

事故件数	175件
漏えいした個人情報	4,090万8,718人分

情報漏えい・紛失 原因別



前年の7倍

最近の漏えい事故

▶ 福岡県が管理する福岡県内の新型コロナウイルス感染症陽性者に関する情報が外部に漏えい(2021年1月)

件数:9,683名分

内容:氏名、居住地、年齢、性別、症状、既往歴、入院医療機関などが記載された4種類のファイル

原因:外部の医療従事者と情報共有を行うため、クラウドサービスを利用。アクセス権を付与するためのメールを第三者に誤送信。第三者から指摘を受け、設定を変更したものの、個別ファイルのアクセスは依然として可能であったため、第三者が報道機関に連絡

新型コロナウイルス感染症対策本部(調整本部)における個人情報の漏えい事案について

更新日:2021年2月9日更新



※令和3年2月9日 [本事案における問題点及び再発防止策等を追加しました。](#)

福岡県からのお詫び

本年1月6日、本県の新型コロナウイルス感染症陽性者に関する個人情報の漏えいが明らかになりました。

この漏えいにより、陽性であった方とご家族並びに関係者の皆様方に、ご心配、ご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

本事案は、県民の皆様のご理解、ご協力のもと、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいる中で起きたものであり、県民の皆様の県行政に対する信頼を損ねたことにつきまして、重ねてお詫び申し上げます。

これまでの調査の結果、メールを誤送信した相手の方(以下「誤送信先」という。)、誤送信先から情報提供を受けた東京の報道機関5社及び系列の福岡の報道機関2社の他には漏えいがないことを確認しております。また、漏えい先にはデータの削除や印刷した資料の廃棄を要請し、それぞれ適切に対応したとの回答を得ております。

最近の漏えい事故

- ▶ ランサムウェア感染により電子カルテシステムを含む総合情報システムで障害が発生。ダークウェブ上に情報流出確認
(2024年5月)

件数: 約40,000人分

内容: 患者情報(氏名、住所、生年月日、病名等)、病棟会議の議事録

原因: 脆弱性が確認されているVPN機器の更新が行われていなかった可能性。
1年前に関係機関より脆弱性に関する連絡があったが対策は棚上げの状態

患者情報等の流出について

☛ HOME » 当センターについて » 当センターの取り組み » 広報活動 » 患者情報等の流出について

令和6年5月19日(日)ランサムウェアによるサイバー攻撃で、当センター及び東古松サント診療所の電子カルテを含めた総合情報システムに障害が発生いたしました。この件について、6月7日(金)県警本部から連絡を受け、県警本部にて当センターの保有する患者情報の流出を確認いたしました。

当センターは、患者の皆様の人権を尊重し、利用者の方々の視点に立った良質な医療の提供を基本方針に掲げ、岡山県内の精神科医療の中核的な役割を担い、これまで多くの患者の皆様を受け入れてまいりました。しかし、この度、私どもの電子カルテのセキュリティ対策への管理監督が十分でなかったためにこのような事態を招き、これまで信頼いただいた皆様を裏切ることになってしまいました。患者の皆様、ご家族、関係者各位に多大なるご心配とご不安、ご迷惑を与えてしまったことに深くお詫び申し上げます。

今回の事態を重く受け止め、被害拡大の防止に全力で努めてまいります。

なお、ご不明な点は、下記の相談窓口へご連絡ください。

1. 流出した可能性のある情報

総合情報システムで職員が業務で作成した資料を保存していた共有フォルダ内の次の情報

- 患者情報 氏名、住所、生年月日、病名 等(最大 約40,000人分)
- 病棟会議の議事録 等

2. 経緯

- 2024年5月19日(日) 総合情報システムダウン
- 2024年5月20日(月) 県警本部、厚生労働省、県に連絡、システム障害のプレス発表
- 2024年5月21日(火) サイバー攻撃が原因と特定し、公表
- 2024年5月22日(水) 個人情報保護委員会に報告
- 2024年6月7日(金) 県警本部にて個人情報の流出を確認

最近の漏えい事故

- ▶ 偽サポート詐欺により、パソコンを遠隔操作され、ファイルが消失？(2024年5月)

件数: 170件

内容: 過去に勤めていた学校の児童に関する指導記録など

原因: 資料に使うためのイラストをネットで検索していたところ、パソコンに「ウイルスに感染しています」というメッセージとサポートセンターの電話番号が表示された。通話相手の言う通りにパソコンを操作し、再起動するとデスクトップに保存していたファイルが消えていた

「ウイルスにかかっています。シャットダウンできません」 大阪・熊取町立小学校で教師のパソコンが何者かに乗っ取られる
約170人分の個人情報漏えいか

06/03 14:32 配信



大阪府の熊取町立小学校で、教師が以前勤めていた別の小学校の児童約170人分の名前が載った指導記録などの個人情報漏えいした可能性があると、町教育委員会が発表しました。



熊取町教育委員会によりますと5月29日、町立小学校で4年生のクラスを受け持つ女性教師（30代）がパソコンで資料を作成していたところ画面が突然停止し、「ウイルスにかかっています。シャットダウンできません。ここに電話してください」と505から始まる電話番号が記載されたメッセージが表示されたということです。

教師が電話をかけると「エスケープキーを10秒押しなさい」などと具体的な操作を指示され、従うとパソコンが遠隔で操作されるようになり、修理代として3万円を請求されました。

出典: ABCニュース

https://www.asahi.co.jp/webnews/pages/abc_25969.html

最近の漏えい事故

- ▶ 中学校で、生徒の個人情報に記載した資料を複数の生徒が閲覧し、その後SNSで拡散(2024年6月)

件数:267件

内容:生徒の成績・性格・交友関係、保護者の情報等

原因:教員が個人情報を記載したファイルを体育館に置き忘れ、複数の生徒が閲覧。スマホで撮影し、生徒間で共有。その後、SNSにも投稿され、インフルエンサーにより拡散

札幌の中学生の個人情報SNSで拡散、市教委が謝罪 2千万回閲覧

古畑航希 2024年6月20日 22時24分



個人情報を含んだ資料の紛失があり、資料とみられる画像の流出があった中学校＝2024年6月19日、札幌市北区、古畑航希撮影

札幌市教育委員会 は20日、同市立中学で一時紛失した生徒の個人情報を含む資料とみられる画像がSNSで拡散されたと発表した。個人情報には氏名や性別のほか学習の状況、友人関係、家族状況、学校生活での配慮事項などが含まれ、「低学力」「だらしない」「親うるさい」などの表現があった。市教委は「配慮にかける表現があった」とした。

不適切表現「先入観持ってしまう」保護者懸念 中学個人情報流出問題 →

SNSの投稿は削除されたが2千万回以上閲覧され、現在も転載された画像がネット上で確認されているという。

市教委によると、4月10日、女性教員が生徒267人分の個人情報を含む資料をまとめたファイルを体育館のステージ上に置き忘れた。ファイルはその後見つかったが、十数人

情報漏えいによる深刻な被害

認知症患者標的の不動産契約、高齢者ら9万人分の名簿と詐欺電話マニュアル押収...容疑者4人を再逮捕へ

2024/06/25 09:46

この記事をストックする



認知症の高齢女性に不当な高値で不動産の売買契約を結ばせたとして男4人が逮捕された事件で、警視庁が4人の勤務先の不動産会社から、高齢者ら約9万人分の名簿や詐欺電話のマニュアルを押収していたことが捜査関係者への取材でわかった。警視庁は、4人が事前に認知症の症状や資産状況を確認した上で契約を持ちかけていたとみて、25日にも別の準詐欺容疑で再逮捕する。



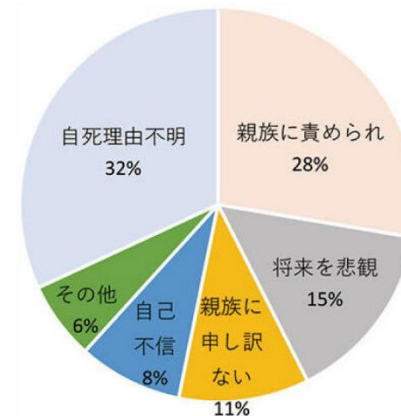
警視庁

捜査関係者によると、再逮捕されるのは「インターネット不動産販売」（東京都板橋区）に勤務する豊島区、職業不詳の男（41）ら4人。いずれも昨年6月、都内の80歳代女性が認知症を患っていることに乗じて、同社が所有する相模原市のアパート1室を共有名義で所有する売買契約を結ばせ、約3400万円を詐取した疑いが持たれている。同社は、この物件を事件前に約300万円で購入していたという。

出典:読売新聞オンライン

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20240625-OYTIT50011/>

愛知県警による警察職員対象の特殊詐欺被害関連アンケート



愛知県警本部生活安全総務課は、職員を対象とした「高齢親族に対する特殊詐欺被害防止機能付き電話機への交換に関するアンケート」と「取扱い事案における特殊詐欺被害者の死亡事例に関するアンケート」の結果をまとめた（図は、被害者死亡事例回答の円グラフ）。同県警察の警察官（職員）約1万4,500人のうち、1万85人の有効回答があった。

警察官として取り扱った特殊詐欺被害者の死亡（自殺）事例については47人の回答があり、内容を分類すると「親族に責められ」が28%、「将来を悲観し」が15%、「親族に申し訳ないと考え」が11%、「自分を信じられなくなり」が8%、「その他及び理由不明」が38%だった。

情報発信による問題

- ▶ 職務上知り得た情報や特定できる愚痴・噂話
 - ▶ 匿名で発信しているつもりでも、閲覧者は「〇〇の職員が言っていた」と判断する場合もある
 - ▶ 内容によっては労働問題（ハラスメント）・契約違反になる可能性
- ▶ 第三者による投稿
 - ▶ 家族や知人が、見聞きしたことを悪意無く投稿することも

いま電車乗ってるけど* *の社員がめっちゃ愚痴ってるの聞こえて草

20:10 2023年9月10日

友達が〇〇に異動になったさみしい…
まあ△△から1時間くらいしか離れてないけど

19:15 2024年3月27日

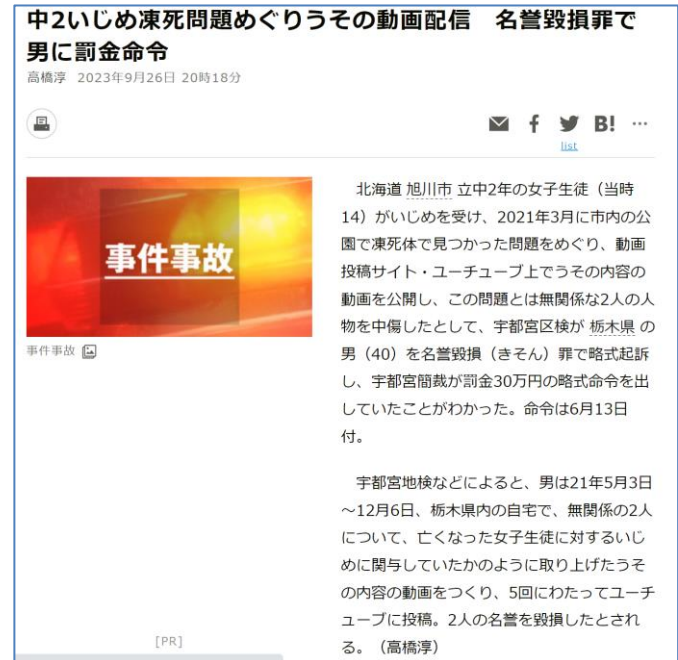
情報発信による問題

▶ 誹謗中傷

- ▶ 「悪意がない」と主張しても相手を著しく傷つけると名誉棄損/侮辱罪となる
- ▶ 事実であっても名誉毀損は成立する

侮辱罪：1年以下の懲役もしくは禁錮、30万円以下の罰金

名誉毀損：3年以下の懲役若しくは禁錮、又は50万円以下の罰金



▶ 不適切な行為の投稿

<https://www.sanyonews.jp/article/1552487>

情報発信による問題

- ▶ 暴露系インフルエンサー（投稿者）
 - ▶ 「内部告発募集します」
 - ▶ 「〇〇というタレコミがあり調査中です」
- ▶ 世直し系/私人逮捕系配信者
- ▶ トレンドブログ
 - ▶ 「この人が犯人らしい」
 - ▶ 「この人が事件に関わっているらしい」
 - ▶ 「〇〇で起きた事件の真相！」

情報発信による問題

- ▶ 無断で写真や動画を撮影され、投稿される
- ▶ 肖像権・プライバシーの侵害
 - ▶ 知り合いであっても、むやみに写真を撮ったり無断で投稿したりしない
 - ▶ 性的姿態撮影等処罰法（新設）
- ▶ リベンジポルノ（私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律）
- ▶ 被害者：19歳以下30.8%、20代40.8%（2023年）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
配偶者（元含む）	60	51	60	60	70
交際相手（元含む）	912	848	821	895	880
知人友人（ネット関係のみ）	182	258	326	394	383
知人友人（それ以外）	154	208	226	223	230
職場関係者	27	29	31	30	32
関係（行為者）不明	84	79	101	87	107
その他	60	97	63	39	110

被害者と加害者の関係

投稿による被害を受けたら

インターネット上の書き込みなどに関する相談・通報窓口のご案内

対面 電話 メール チャット SNS 左記マーク以外は各機関のWebフォームから相談

インターネット上の誹謗中傷やプライバシー侵害等のトラブルにあった

インターネット上の違法・有害情報を見つけた

解決策について相談したい

悩みや不安について話をしたい

心のSOS ままろうよこころ (厚生労働省)
www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro
 生きるのがつらいなどの悩みや不安を抱えている方に、気軽に相談できる窓口を紹介しています。

違法薬物の販売情報、違法なわいせつ画像、児童ポルノ、爆発物・銃砲等の製造、殺人や強盗等の犯罪行為の誘引・仲介・誘引、自殺の誘引・勧誘などを通報したい

どうしたらよいか分からない

ネット上の書き込み・画像を削除したい

書き込んだ相手に損害賠償を求めたい

身の危険を感じている／脅迫されている・犯人の捜査、処罰を求めたい

弁護士または

法的トラブル解決のための「総合案内所」 法テラス
 問合せ内容に応じて解決に役立つ法制度や相談窓口に関する情報を案内します。経済的に余裕のない方を対象に無料の法律相談や弁護士費用等を立て替える制度があります(要件確認あり)。
 ☎0570-078374 www.houterasu.or.jp

サイバー犯罪の情報提供、相談窓口
 警察または居住地のサイバー犯罪相談窓口
www.npa.go.jp/cyber/soudan.html

ネットトラブルの専門家に相談したい

人権関係の専門機関に相談したい

プロバイダ等に相談を促してほしい(児童相談所)

有害情報も通報したい(児童相談所)

迅速な助言 違法・有害情報相談センター (総務省)
www.ihaho.jp
 相談者自身で行う削除依頼の方法などを迅速にアドバイスします。インターネットに関する技術や利用等の専門知識や経験を有する相談員が、人権侵害に際する様々な事案に対して確応にアドバイスします。

削除要請・助言 人権相談 (法務省)
 ☎0570-003-110 www.jinken.go.jp
 相談者自身で行う削除依頼の方法などの助言に加え、法務省が事業に応じてプロバイダ等に対する削除要請を行います。本削除要請は裁判的な処分を受ける法的な効果は認められていないものであり、この助言には法的な効果は認められていません。

誹謗中傷ホットライン セーフライン
www.safeline.or.jp/bullying/
 インターネット上の誹謗中傷について連絡を受け付け、一定の基準に該当すると判断した場合には、国内外のプロバイダに各社の利用規約等に沿った対応を促す連絡を行います。

迅速な削除の要請 セーフライン
www.safe-line.jp
 インターネット上の違法情報や有害情報の通報を受け付け、国内外のサイトへの削除の要請や、警察等への通報を行います。日本経済連盟の被害に遭われた方、いじめの被害者の通報も受け付けています。

サイトへの削除依頼 インターネット・ホットライン センター (警察庁)
www.internethotline.jp
 インターネット上の違法情報及び児童ポルノ等に関する情報、自殺誘引等情報の通報を受け付け、ガイドラインに基づいて該当性の有無を行い、警察への情報提供とサイトへの削除依頼をします。

※上記機関以外に、一般的な情報セキュリティ(主にウイルスや不正アクセス)に関する技術的な相談に對してアドバイスを提供する窓口としてIPA[情報セキュリティ安心相談窓口]があります。
 ※上記のほか、学校や地方公共団体にある相談窓口も活用してください。



ご協力いただける方を募集しています。このサービスの導入を開始しました。このサービスで、他のユーザーへ十分な情報を提供し、サービスの品質向上に皆さんのご協力をお願いします。

Community Notes @CommunityNotes
 こんにちは! 🇯🇵👋
 本日より、日本でコミュニティノート機能を実装しました。ただの場合は今すぐご応募下さい。今後サービスの品質を改善できるように皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。
[さらに表示](#)

- 👤 @XcorpJPさんのフォローを解除
- 👤 @XcorpJPさんをリストに追加/削除
- 🔇 @XcorpJPさんをミュート
- 🔇 この会話をミュート
- 🔒 @XcorpJPさんをブロック
- 📊 ポストのエンゲージメントを表示
- 🔍 ポストを埋め込む
- 🚩 **🚩 ポストさんを報告**

プロバイダ責任制限法
 ↓
 情報流通プラットフォーム対処法

こんなこと、ありませんか？

- ▶ 身の回りで起きたことをすぐに投稿する
 - ▶ 第三者が検索しても問題ないか
 - ▶ 悪影響を受ける人がいないか
- ▶ 無断で友人・同僚のタグ付けをする
 - ▶ 相手の了承を得る
- ▶ 懇親会などで撮影した写真を無断で投稿する
 - ▶ 居場所を知られたくない人、写真を公開されて困る人はいないか
- ▶ 過去に使用していたアカウントを放置している
 - ▶ 自分の過去の投稿などを管理できているか

その情報、相手は公開していますか？



@はむすた



今日は家族でお花見です



〇〇さんのご家族
初めて見ました！

□□ちゃん
大きくなったね！

△△公園ですか

情報収集について

- ▶ ソーシャルエンジニアリング
 - ▶ 人間の隙や心理につけ込んで個人情報や機密情報を収集する
 - ▶ 会話、電話の盗み聞き
 - ▶ 家族や知人へのなりすまし
 - ▶ ソーシャルメディアでのフォロー・DM
 - ▶ ショルダーハッキング
 - ▶ ゴミ箱
- ▶ なりすましや脅迫により被害者を誘導する
 - ▶ 受信者の関心を引くメールタイトル
 - ▶ 虚偽の求人情報
 - ▶ 不正請求や偽の不在通知等のSMS

アカウントの管理を嚴重に

- ▶ パスワードを使い回さない・共有しない
- ▶ 推測されにくい長めのパスワードにする
- ▶ 二段階（多要素/知識・所有・生体）認証を設定する
- ▶ SNS等で不正ログインに気づいた時はすぐにパスワードを変更する
- ▶ 利用していないサービスはアカウントを削除する

情報発信の注意点

- ▶ インターネットは「秘密の場所」ではない
 - ▶ いくつかの情報が集まると個人は特定できる
 - ▶ SNSの「非公開設定」「限定公開」を過信しない
- ▶ 言葉や写真は、個人によって捉え方が異なる
 - ▶ 文脈や意図を違う意味に捉えられる可能性もある
- ▶ 情報を見極め、比較・取捨選択をする
- ▶ 体調が悪い時、飲酒時は特に注意する

組織における対応

- ▶ 基本的な人権・法教育、ハラスメント対策
 - ▶ 最近の実例を用いて具体的に
 - ▶ 世代・経験による認識のギャップを埋める
 - ▶ ✕「当たり前」 ✕「言わなくてもわかるはず」
 - ▶ 「モラル」は人によって捉え方が異なる
- ▶ 基本的なサイバーセキュリティ対策
 - ▶ 守るべき情報の分類・把握とその方法
- ▶ ソーシャルメディアへの理解
 - ▶ 社会人として問題ある投稿とは
 - ▶ プライベートでも注意喚起は必要
 - ▶ 不適切な投稿が行われた場合の対応方法

相談窓口

内容	窓口	連絡先
ウイルス感染、不正アクセスの 疑い等	IPA情報セキュリティ 安心相談窓口	03-5978-7509 anshin@ipa.go.jp https://www.ipa.go.jp/security/anshin/index.html
サイバー事案 (ランサムウェア被害、 サポート詐欺等)	警察庁 (Webフォームに入力後、都道府県 警察本部または警察署を選択)	https://proc.npa.go.jp/portal top/SP0200/07/02.html
人権問題	法務省インターネット人権相談受付 窓口	<a href="http://www.moj.go.jp/JINKE
N/jinken113.html">http://www.moj.go.jp/JINKE N/jinken113.html
違法・有害情報 (削除依頼の方法等)	違法・有害情報相談センター	https://ihaho.jp/
違法・有害情報	インターネットホットラインセンター	<a href="https://www.internethotline.j
p/">https://www.internethotline.j p/
リベンジポルノ	一般社団法人 セーフティーインターネット協会	<a href="https://www.safe-
line.jp/against-rvp/">https://www.safe- line.jp/against-rvp/